エムガルティ® 皮下注120mg シリンジ

医薬品リスク管理計画
(RMP)

本資材はRMPの一環として位置付けられた資材です

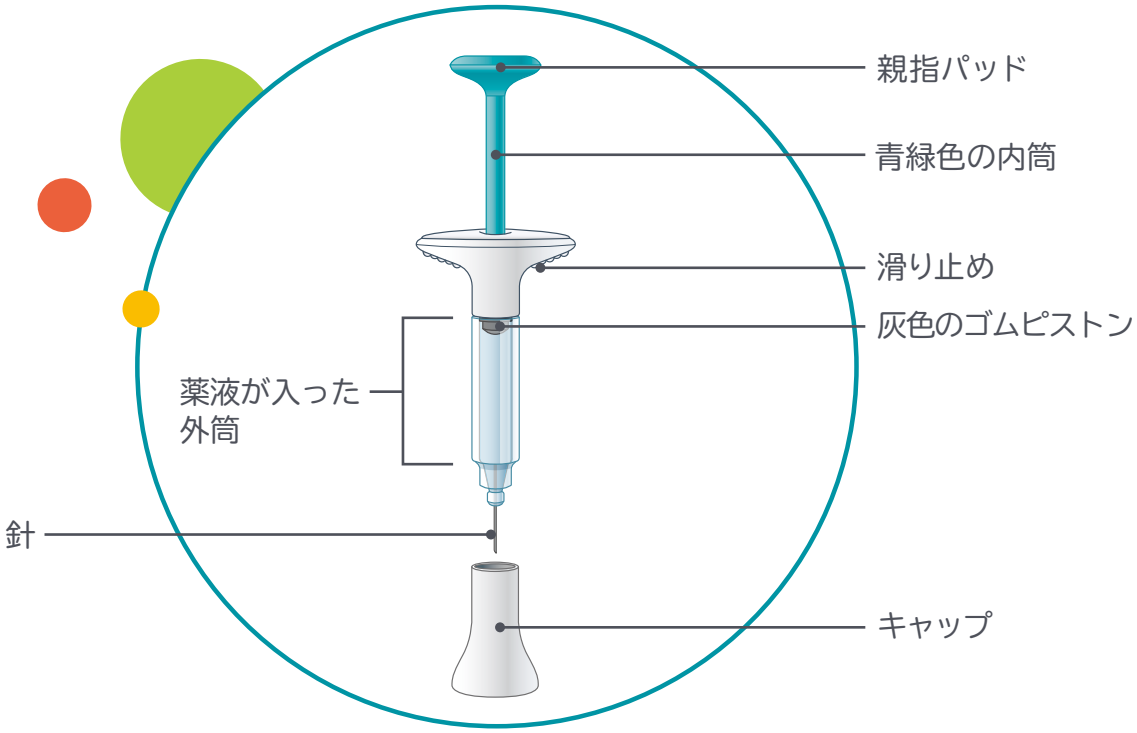
エムガルティを使用される患者さんへ

エムガルティ皮下注120mgシリンジを使用されている方へ

Lilly A MEDICINE COMPANY 日本イーライリリー株式会社

Daiichi-Sankyo 第一三共株式会社

エムガルティ皮下注120mgシリンジは、1回使い切りの注射剤です。



初回に2本を、以降は1ヵ月間隔で1本を皮下に注射します。

初回
2本注射

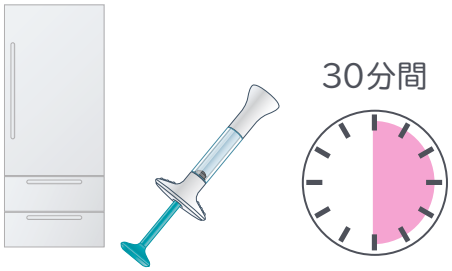
2回目以降
1ヵ月間隔で1本注射

- 本剤を激しく振らないでください。
- また、本剤を電子レンジで温めたり、お湯をかけたり、直射日光の当たるところに放置しないでください。

注射前準備

1. 冷蔵庫から取り出し、室温に30分間置きます。

＊使用前に30分間室温に置いておくことで、注射の不快感が軽減できます。

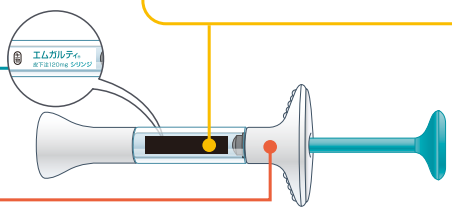


2. 注射器と薬液を確認します。

注射器や薬液に問題があった場合は、使用せずに医療従事者へ連絡してください。

ラベルに記載の使用期限は過ぎていませんか？

エムガルティ皮下注 120mg シリンジで間違いありませんか？（他の注射器でないことを確認）



注射器に破損はありませんか？

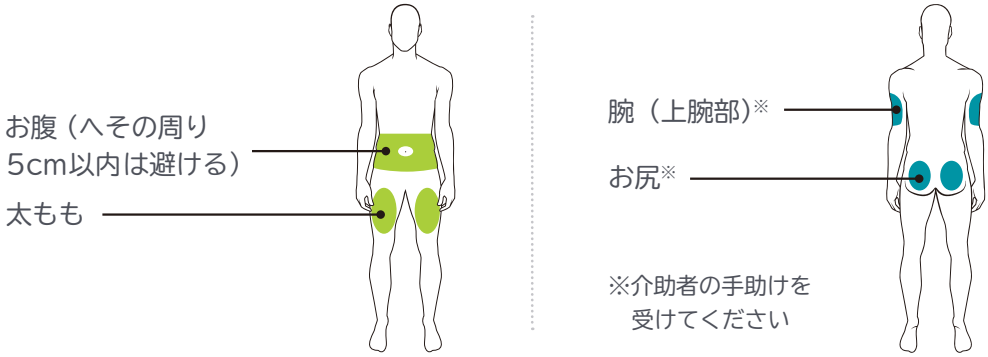
薬液の見え方

薬液は無色透明かわずかに黄色がかっています。
・濁り、変色、異物混入はありませんか？
・凍結していませんか？

3. 注射前にせっけんで手を洗い、また廃棄用の容器（専用廃棄用ボックスまたはふたのできる、穴の開かない容器）も準備しておきます。

4. 注射部位を決め、消毒し、乾かしてください。

エムガルティを注射する部位
（注射部位は、医療従事者にご相談のうえ、適切な部位を選んでください。）

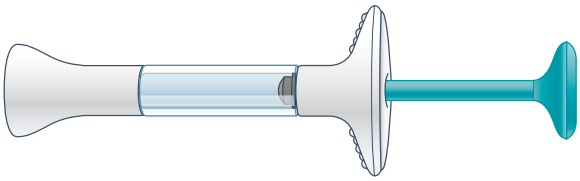


- 注射箇所は必ず毎回変更してください。
- 同じ部位に注射するのは問題ありませんが、注射箇所は前回から変えてください。
- 傷や発赤等のある部位には注射しないでください。

注射方法

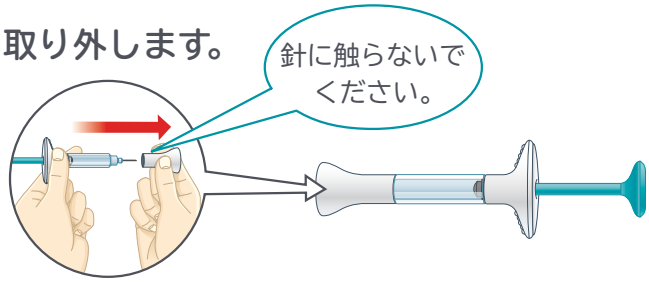
使用前に確認

注射する直前まで
キャップはつけたまま
にしておきます



1. 注射する直前に、キャップを取り外します。

キャップを引っ張って外し、
捨ててください

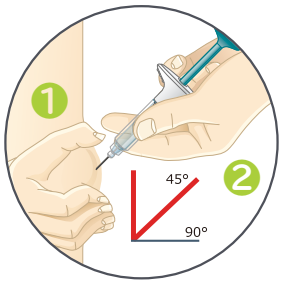


＊外したキャップを
元に戻さないでください
（針が破損したり、針でけがをしたりすることがあります）

2. 針をさします。

❶ 注射する部位の皮膚をかるくつまみます

❷ 45°の角度で針をさします



3. 注射します。

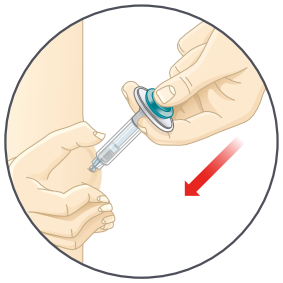
❶ 薬液がすべて注射されるまで、親指パッドを押し、
内筒をゆっくり押し込みます

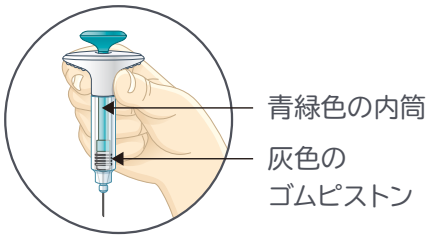
❷ 灰色のゴムピストンが注射器本体の針の
根元まで来るように押し込みます

❸ 注射が完了していれば、図のように
青緑色の内筒が外筒から透けて見えます

❹ ゆっくりと皮膚から針を抜き、
その後つまんだ皮膚をゆっくりと離します

❺ キャップは元に戻さないでください





保管と取扱い

冷蔵庫（2～8℃）に
保存してください。

室温（30℃以下）で7日間
保存することができます。

凍らせないで
ください。

使用するまで
遮光保存してください。

激しく
振らないでください。

上記の保存条件が守れなかった場合は、
廃棄してください。

注射器の一部にガラスが使われていますので、
丁寧に扱ってください。
硬い床や地面に落とした場合は使用せず、
新しい注射器を使用してください。

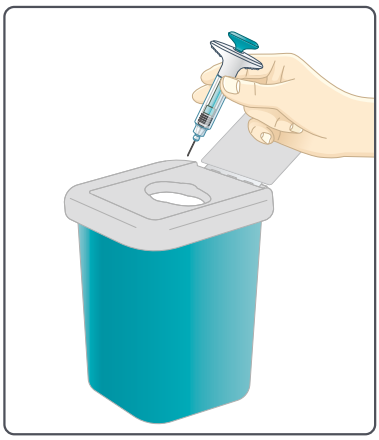
子供の手の届かないところに保管してください。

廃棄方法

使用済みの注射器は、医療従事者の指示に従って廃棄してください。

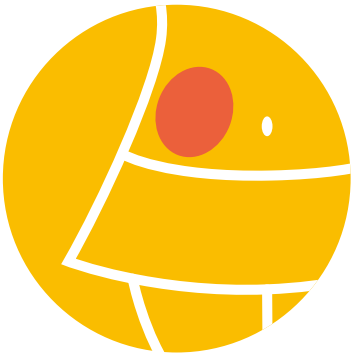
- 外したキャップを元に戻そうとすると、針でけがをする場合があります。キャップははめなおさないでください。
- 使用済みの注射器は、専用廃棄用ボックスに入れる、または専用廃棄用ボックスがない場合は、ふたのできる、穴の開かない容器に入れてください。

（図は一例として、専用廃棄用ボックスを示しています）



エムガルティの副作用

よくみられる副作用



- よくみられる副作用は注射部位反応（痛み、発赤、かゆみ、内出血、腫れなど）です。
- 注射部位反応は、多くの場合、注射した日に出現し、数日以内に消失します。
- その他の副作用として、皮膚のかゆみ、じんま疹、発疹などが報告されています。

重篤な過敏症について

まれな副作用として、重篤な過敏症が起こることがあります。特に次のような症状があらわれた場合は、次の受診日を待たずに医師・薬剤師に連絡して、すみやかに医療機関を受診するようお願いします。

重篤な過敏症反応は、本剤投与後数日たってからあらわれることもありますので、ご注意ください。

- 皮膚に今までとは違う発疹、かゆみが出た。
- 息苦しい（呼吸困難もしくはのどが締め付けられるような感じ）。動悸（どうき）がする。
- 顔、まぶた、唇・舌やのどが腫れた。声がでにくい。
- 寒気がしたり、発熱がある。汗をかく。
- ふらついたり、意識がもうろうとする。

その他、気になる症状があらわれた場合には、医師、薬剤師、または看護師に連絡してください。

こんなときは…

もし注射を忘れてしまったら…

気がついたときに1回分を注射し、
その日から1ヵ月後を次の注射日としてください。
わからないことがあれば、主治医に相談しましょう。

もし本剤についてご質問等があれば…
主治医にご相談いただくか、以下までお問い合わせください。

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口
（一般の方・患者様向け）
0120-245-970/078-242-3499※1
受付時間　月曜日～金曜日　8:45～17:30※2

第一三共株式会社　製品情報センター
（一般の方・患者様向け）
0120-693-132/03-6740-9152※1
受付時間　月曜日～金曜日　9:00～17:30※2

※1 フリーダイヤルでの接続が出来ない場合、このお電話番号にお掛けください。
尚、通話料はお客様負担となります。
※2 祝祭日及び当社休日を除きます。

最新の取扱説明書は、下記の患者さん向けウェブサイトからダウンロードできます。

エムガルティをご使用される患者さん向けウェブサイト

https://www.emgality-patient.jp

よくある質問

Q. 薬液の中に気泡があった場合はどうしたらいいですか？

A. 本剤は皮下に注射されます。皮下注射では、薬液の中に気泡があっても問題ありません。

Q. キャップを外した後、針先から薬液がもれていた場合はどうしたらいいですか？

A. 針先にしずくがついている程度であれば問題ありません。

Q. 内筒が押し込めない場合はどうしたらいいですか？

A. 内筒が詰まっていたり、壊れたりしていたら、

- 本剤を使用しないでください。
- 針を皮膚から抜いてください。
- 新しい注射器を使用してください。

Q. 注射後に少量の薬液が皮膚上にもれていたり出血したりしている場合は、どうしたらいいですか？

A. 問題ありません。カット綿またはガーゼを注射部位にあててください。注射部位をもまないでください。

Q. 注射が完了したことを確認するにはどうしたらいいですか？

A. 注射が完了していれば

- 青緑色の内筒が外筒から透けて見えています。
- 灰色のゴムピストンが注射器本体の針の根元まで押し込まれています。

EMG-N008（R1）
EMG1P01801
2026年2月改訂